



『芸術と出会う』

私は絵画や彫刻が好きで、よく美術館を訪れます。心に深く印象に残っているのは、絵画ではウフツイ美術館(フイレンチエの「ヴィーナス誕生」とプラド美術館(マドリッド)の「裸のマハ」、彫刻ではルーヴル美術館の「サモトラケのニケ像」です。

彫刻といえば、ある日、御施主様のところで、思いがけず舟越保武(ふなこしやすたけ)氏の代表作「聖セシリア」像に出会いました。その像は気高く、美しく、そして、静寂な何とも言えない時間と空間を私に与えてくれました。舟越氏の修道女のもう一つの代表作である「聖クララ」は、イタリア・アッシジの聖フランチェスコ寺院を彼が訪れた時の修道女がモデルとされています。アッシジから寺院までを感傷に浸りながら散歩した学生時代を懐かしく思い出しました。

「旅をしない音楽家は不幸だ」という言葉をモーツァルトは残しています。広島は山や川、そして海があり、住みながらにして旅をしているような自然豊かな街です。そこで出会う建築や彫刻、絵画、音楽が、人や街と共にエレガントな「広島の文化」として発展することを望みます。

これからもすばらしい『芸術』に出会い、自分を磨き、そして、皆様の廻りが『豊かな世界の空間』となるよう仕事をして参りたいと思います。

代表取締役 伊藤 弘幸

エリザベト音楽大学



聖セシリア像

聖セシリアはキリスト教の聖人で、音楽の聖人とされる。



聖クララ像

舟越保武の主な作品



EVE

【広島現代美術館】



笛吹き少年

【広島現代美術館】



たつ子造

【秋田県田沢湖】



長崎二十六殉教者記念像

【長崎県長崎市】

舟越保武と佐藤忠良

両氏とも東北の出身で、戦後日本を代表する彫刻家。女優の佐藤オリエは忠良の娘さん。



佐藤忠良デッサン
(伊藤弘幸所有)

彫刻との出会い ～ 彫刻の森美術館 ～

箱根の山々に囲まれた広大な敷地の中で芸術を鑑賞するのは、何とも言えない爽快感があります。7万㎡の屋外には近代・現代美術を代表する巨匠達の作品が約120点展示されています。屋内展示もあり、舟越氏と佐藤氏の作品も並んで展示されていました。(S.I)



原の城【舟越】



カンカン帽【佐藤】





慰霊碑の向こうに原爆ドームが見える

【ピロティ】
1階に壁がなく柱だけの外部に
開かれた空間のこと

広島平和記念資料館（広島市中区中島町）

広島で学生生活を送った世界の**丹下健三**氏の実質のデビュー作である。丹下氏の凄じところは都市計画的な観点から考えて設計しているところではないか。

原爆ドームは平和記念資料館の敷地外になるが、**ピロティ**から慰霊碑を望むと原爆ドームが平和公園内にあるようにみえてしまう。この丹下氏の原爆ドームを巧みに取り込んだ設計により、原爆ドームの保存活動が起こることになった。広島都市の在り方で変えてしまった傑作建築である。（K.Y）



世界平和記念聖堂（広島市中区幟町）

※現在耐震補強工事中

設計コンペが実施され、2等に丹下健三、3等に前川國男、菊竹清訓など錚々たる顔ぶれが選ばれる。菊竹氏は当時20歳の早稲田大学学生。学生が3等を選ばれるということは現在のコンペでは考えられない。

1等は該当なしで、コンペ審査員の**村野藤吾**氏が設計することになった。設計料は受け取らなかったそうだ。

柱にはイエスキリストの十字架の道行レリーフ、死刑宣告から墓への埋葬まで14枚が1枚づつ柱に飾られおり、これを前提とした柱割となっている。また、村野氏らしい階段手摺の曲線など、ディテールも見どころがある。

11月の午後には、世界各地からの寄贈によるステンドグラスを通して、日光が教会内部を照らし、実に美しい。（K.Y）

「戦後の建物としての国の重要文化財は4つ」
広島平和記念資料館と世界平和記念聖堂は、同時に戦後の建物として初めて指定された。
残る2つは、東京上野にある**ル・コルビュジェ**氏が設計した国内唯一の建物、国立西洋美術館（写真④）と、愛媛県八幡浜市の日土（ひづち）小学校（写真⑤）である。

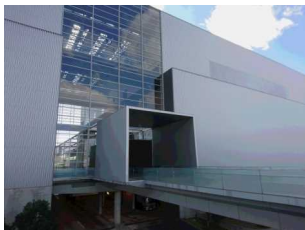


2016年世界文化遺産に登録



広島市環境局中工場（中区南吉島）

谷口吉生氏設計。ゴミ処理場とは思えない画期的な建物。吉島通りの延長線上に設けられた通路「エコリウム」からは稼働中の工場内が見られ、そしてその通路はそのまま海へと繋がる。エコリウム先端デッキからの眺めは絶景で、ここがゴミ処理場である事を忘れてしまう。（S.I）



白牡丹延宝蔵



本陣跡 賀茂鶴本社



亀齢五号蔵 賀茂鶴蔵



賀茂泉酒泉館（旧県立醸造試験場）

西条の酒造施設群（東広島市）

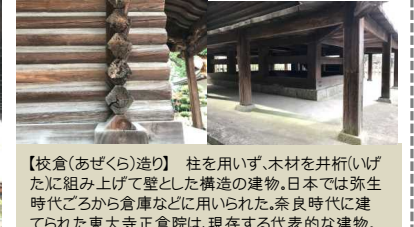
酒都「西条」、酒蔵の連なる一帯が、2017年、日本の**20世紀遺産20選**の一つに選定されました。

西条の酒つくりは江戸時代1675年くらいからといわれています。但し、この時点ではローカルな存在で、盛んになったのは明治時代中ごろから。鉄道の開通、西条中硬水醸造法の確立、米の精米器の発明があげられます。さらに日清・日露戦争による呉鎮守府・広島第五師団の拠点になりさらに盛況になっていきました。大正時代には全国3位の造り高に位置していましたが、今は9位にあるとのこと。

全景を眺めるには、市役所の10階展望喫茶が最適。酒蔵通りの路地を散策すると、酒蔵を身近に見られます。（H.S）

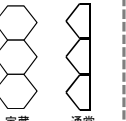
昭和44年竣工の賀茂泉酒泉館は、常時20種類以上飲み比べができる喫茶コーナーとなっています。お酒を使用したスイーツもあるそうです。

多家神社の宝蔵（安芸郡府中町）



【校倉（あざくら）造り】 柱を用いず、木材を井桁（いげた）に組み上げて壁とした構造の建物。日本では弥生時代ごろから倉庫などに用いられた。奈良時代に建てられた東大寺正倉院は、現存する代表的な建物。

1874年（明治7年）、多家（たけ）神社創建の際に移築された広島城三の丸稻荷社の社殿の一棟で、**現存する広島城関係の唯一の建築物**。**校倉造り**では通常、三角形に近い材木が使われているが、この宝蔵では四角形に近い六角形の材木が使われている。日本に現存している建物でも他に例がなく唯一の存在。県の重要文化財で、中には大きな神輿が納められている。静かな境内の中にあって堂々とした佇まいがある。（M.U）



宝蔵 通常



広島市江波山気象館（中区江波）

1934年竣工した気象台が博物館に再生された建物。**被ばく建物**で、広島市重要文化財に指定されている。建築様式は20世紀初頭に花開いたドイツ表現主義の影響を受けたモダンな造形で、建築技術史的にも優れた建物である。（S.T）



広島市郷土資料館（南区宇品）

1911年に陸軍の缶詰工場として建設されたイギリス積みレンガの建物です。**被ばく建物**で、爆風で折れ曲がった鉄骨が、天井の一部に保存、公開されています。（T.M）



<曲がった鉄骨>

広島市西消防署（西区都町）

建物全体は2400枚のガラスのルーバーで覆われており、外部から内部を見ることができる親しみやすい消防施設。床下もスケルトンになっており、消防活動の展示スペースとして活用されている。（N.K）



～ ウイズアートの現場から～

住宅新築



キッチンの上にはロフトがあります



住宅新築



棟上げ



無垢材床張り



【鉄筋組立】

【T様邸新築住宅 ～廿日市市～】 梁を見せているリビングの勾配天井は高く、窓も大きく取った明るい室内です。3月の完成予定です。（丸口）

ビル改修



上柳橋より



【エリザベト音楽大学寮外壁改修工事～中区～】
屋根・外壁を明装工事します。塗装色は学生さんたちと決めました。春には一新します。
（竹本・下野）

マンション改修



Sグリーン平和公園
室内改修工事
～広島市中区～（下野）



【耐圧版CON打設及び立上り型枠】

【K様邸新築住宅(洋向台)】
木造3階建て住宅を施工中。
2階部分に屋内のテラスを設けています。（丸口・亀田）

住宅リフォーム 【S様邸リビング改修工事 ～府中町～】



♥編集後記♥

先号で募集しました「**広島の魅力ある建物**」には多数(?)のご応募をいただきありがとうございました。
弊社下野生産のお米と、丸口生産のみかんを「**ウイズアートの玉手箱**」としてお送りさせていただきました。
ということで今回の「**たてもの見聞録**」は応募いただいた原稿等を「**ひろしまたてものがたり編**」として掲載しております。
これからもウイズアートレターを通して、皆様に興味を持っていただけるような情報をお届けしたいと思っております。
どうぞ、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。（ウイズアートレター担当者）



表題字横の狛犬さまは「日光東照宮陽明門」のものです。平成の大修理を終えた陽明門は豪華絢爛！真っ白な壁や柱が、彫刻の彩色をさらに鮮やかに、金箔や漆も際立たせています。（2017年11月撮影 H.I.）



株式会社 ウイズアート

住所 広島市中区竹屋町1番17号IMビル2F
TEL/FAX 082-247-0062 / 247-0063
Eメール itoh@uizu-art.jp
ホームページ uizu-art.jp で検索